

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第154号 2017年 6月

やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会

〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内

☎045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

☂雨の水源林を歩くのも楽しい☂



梅雨の季節に入りました。

小雨の降るやどりき水源林、こんな時には透明の傘を差しながら歩くのも楽しいものです。ほら景色が広がりますね。

この時期ならではの楽しみもたくさん見つかります。

さあ探してみましょう。



まず目につくのが草木についている白い泡。そっと泡を動かしてみると、お腹が赤いアワフキムシ(シロオビアワフキ)の幼虫が隠れていました。



ここにも素敵なものがありました。この時期の宝石。モミジイチゴの実です。

濡れた実が、雲の合間からちょっと差ししてきた太陽の光に輝いていました。

このイチゴ、野山のイチゴの中で一番おいしいかもしれません。

雨がちょっと止みました。

飛んできたコジャノメが葉の上に止まって、翅(はね)を広げました。



きっと濡れた翅を乾かしているのかもしれません。普段は翅を閉じて止まるのです。この日は沢山のコジャノメがやどりき水源林を飛んでいました。



《花のリレー IN 水源林》



ミズキ



斜面の所々には
ジャケツイバラ
の黄色も。

斜面を彩っていた白い花、6月になるとミズキからヤマボウシ（白い部分は総苞片）にバトンタッチされました。



ヤマボウシ



林道コースでツクバネウツギやヒメウツギから始まった「ウツギ」のリレーは、①ガクウツギから②マルバウツギ、③ニシキウツギや④コゴメウツギと繋いで、⑤バイカウツギや⑥ウツギが咲くとそろそろゴールです。

管理棟近くのBコース、コンクリートの斜面に両脇から「コアカソ」がせり出してきました。県が実施しているシカの管理捕獲が進み、水源林でもシカの食害が減っており、コアカソが育ってきたようです。

コアカソをよく見ると、オトシブミの仲間（コブオトシブミと思われます。）の揺籃がぶら下がっていました。反対側でコアカソの葉をモリモリ食べているのは、フクラスズメの幼虫でした。



オトシブミの仲間の揺籃



フクラスズメの幼虫

7月の水源林のご案内



寄沢で川遊びが楽しめます。
気に入った石を探したり、川の中を歩いて涼しさを楽しんだり。

でも急な増水には気を付けて！！

森の案内人では、夏休み企画「水の中の生き物を探そう」を用意して皆さんをお待ちしています。

